

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	01-01-01		戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事
事務事業名	政務活動費		部課名	総務企画部総務企画課	課長名	小林	
			担当者名	高村・中畑	内線	2211	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）	01-05-01	政務活動費					
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度）			<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業	
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	13年度	根拠	地方自治法第100条第13項、荒川区議会政務活動費の交付に関する条例ほか			
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	年度	法令等				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内	<input type="radio"/> 都基準内	<input checked="" type="radio"/> 区独自基準	計画区分	<input type="radio"/> 計画	<input checked="" type="radio"/> 非計画	
行政評価事業体系	分野	VII	計画推進のために				
	政策	13	区民の主体的な区政参画と連携強化				
	施策	04	議会運営				
目的	区議会各会派に対して調査研究その他の活動に必要な経費の一部を交付することにより、各会派の調査研究その他の活動を通じた区議会の一層の活性化を図ることを目的とする。						
対象者等	区議会各会派（1人会派を含む。）						
内容	<p>区議会議員の調査研究その他の活動に要する経費の一部とし、区議会各会派に対し政務活動費を交付。 （交付対象）区議会各会派 （交付額）各月の1日における会派の所属議員数に月額8万円を乗じた額 （交付方法）議長から区長への会派に関する届出の通知に基づき交付決定し、各会派からの請求に基づいて半期ごとに交付する。 （使途基準）議員の調査研究その他の活動に要する経費のうち、研究研修費、会議費、調査旅費、通信運搬費、資料作成費、資料購入費、広報費、広聴費 （収支報告）各会派の経理責任者が、翌年度の4月30日までに収支報告書、実績報告書及び領収書の原本等を議長に提出。議長はその写しを区長へ送付 領収書の確認は、収支報告書とともに、領収書の提出のあった際に、議会事務局が行う。 （返 還） 交付を受けた政務活動費に残余があれば返還</p>						
経過	平成13年4月 荒川区議会政務調査費の交付に関する条例施行 平成19年4月 議員提案により条例改正 （①額の改定（所属議員1人当たり月額16万円→8万円）②使途基準の厳格化③領収書の原本の提出の義務化等） 平成25年3月 地方自治法等の改正に伴い、政務活動費へ名称変更 平成25年5月 政務活動費運用の手引き作成						
必要性	各会派の調査研究等の機能を充実させることにより、区議会の活性化を図り、区政運営のチェック機能の強化に資する。						
実施方法	（1直営） （直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員）						
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み	
	①						
	②						
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
30年度	31年度						
継続	継続	引き続き現状の内容を維持していく。					

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	02-01-03	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	議員（待遇者）甲慰金	部課名	区政広報部秘書課	課長名	茶谷		
		担当者名	森下	内線	2005		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）	01-01-04	議員（待遇者）甲慰金					
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度）		<input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業				
開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	47年度	根拠	荒川区議会議員及び荒川区議会議員甲慰金支給基準			
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	年度	法令等	基準			
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内	<input type="radio"/> 都基準内	<input checked="" type="radio"/> 区独自基準	計画区分	<input type="radio"/> 計画	<input checked="" type="radio"/> 非計画	
行政評価事業体系	分野	VII	計画推進のために				
	政策	13	区民の主体的な区政参画と連携強化				
	施策	04	議会運営				
目的	区議会議員（待遇者）が死亡した際、弔意を表すため甲慰金を支給する。						
対象者等	区議会議員 区議会議員待遇者						
内容	<甲慰金の額> (1) 荒川区議会議員 10万円 (2) 議員待遇者 5万円						
経過	荒川区議会議員甲慰金は昭和47年、議員待遇者甲慰金は昭和63年から実施。平成13年4月に荒川区議会議員10万円、議員待遇者5万円に改正。						
必要性	区議会議員（待遇者）が死亡した際、弔意を表すため必要な経費である。						
実施方法	（ <input type="radio"/> 直営）（直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員） 死亡確認後、資金前渡金を受け、区長が通夜又は告別式に持参。						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		27年度	28年度	29年度	30年度見込み	目標値(38年度)	
	①						
	②						
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
30年度	31年度						
継続	継続	区議会議員（待遇者）が死亡した際、弔意を表すため必要な経費である。					

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		200	150	150	150	150	150	150
決算額（30年度は見込み）		100	0	0	100	100	100	150
実績の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事項名（30年度は見込み）								
対象者数（29年度は見込み）		1	0	0	2	1	2	0
（内訳）議員待遇者（29年度は見込み）		1	0	0	2	0	2	0
荒川区議会議員（29年度は見込み）		0	0	0	0	1	0	0

予算・決算の内訳								
平成28年度（決算）			平成29年度（決算）			平成30年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報償費	弔慰金	100	報償費	弔慰金	100	報償費	弔慰金	150

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	28年度	29年度	差額		28年度	29年度	差額	
	給与関係費	239	243	4	地方税	0	0	0
	物件費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	100	100	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	106	49	▲ 57	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 445	▲ 392	53
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	445	392	▲ 53	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 445	▲ 392	53
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 445	▲ 392	53

備考 行政費用では、事務・手続等に関する作業が多いため、給与関係費の割合が多い。

問題点・課題

問題点・課題の改善策			
	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①			
②			
③			
他区の実況	(実施 0 区 未実施 0 区 不明 22 区)		
議会議決要旨			

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		348,019	348,019	337,757	355,306	361,897	363,794	345,678
決算額(30年度は見込み)		345,618	337,408	337,635	355,249	361,838	346,566	345,678
実績の推移	事項名(30年度は見込み)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	区議会議員数	32人	31人	31人	31人	32人	31人	30人
					(4月)	(4月~1月)	(4月~5月)	
					32人	31人	30人	
				(5月~3月)	(2月~3月)	(6月~3月)		

予算・決算の内訳

平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報酬	議員報酬・期末手当(3.95月)	361,838	報酬	議員報酬・期末手当(4.05月)	346,566	報酬	議員報酬・期末手当(4.05月)	345,678

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		28年度	29年度	差額	勘定科目	28年度	29年度	差額
	給与関係費		344,764	329,493	▲ 15,271		地方税	0	0
物件費		0	0	0	国庫支出金	0	0	0	
維持補修費		0	0	0	都支出金	0	0	0	
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
補助費等		0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0	
減価償却費		0	0	0	その他	0	0	0	
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0	
賞与・退職給与引当金繰入額	110	197	87	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 344,874	▲ 329,690	15,184		
その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0		
行政費用合計(b)	344,874	329,690	▲ 15,184	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 344,874	▲ 329,690	15,184		
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 344,874	▲ 329,690	15,184		

備考 議員報酬としての事業項目なので、行政費用では給与関係費のみである。差額支給が発生しているにもかかわらず、全体として支出額が減少している要因は、議員の死亡や退縮により、現員数が減ったためである。

問題点・課題

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①			
②			
③			

他区の実況 (実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)

議会議決(要旨) 平成21年3定 議員定数の削減について。現行の32名から24名に削減すべき。
平成23年1定 議長、副議長の異常な高額報酬や選出の問題、議員定数削減について

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	16-01-02	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働 <input type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事				
事務事業名	共済費（議員）	部課名	議会議会事務局	課長名	濱島		
		担当者名	原田	内線	3611		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）	01-02-01	共済費					
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度）		<input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> それ以外の継続事業				
開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	36年度	根拠	地方公務員等共済組合法の一部を改正する法律			
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	年度	法令等	（平成23年法律第56号）附則第23条			
実施基準	<input checked="" type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input type="radio"/> 区独自基準	計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	VII	計画推進のために				
	政策	13	区民の主体的な区政参画と連携強化				
	施策	04	議会運営				
目的	旧地方議会議員年金制度の共済給付金の給付に要する財源として、地方公務員等共済組合法の一部を改正する法律（平成23年法律第56号）の規定に基づき、給付費負担金と市議会議員共済会に対する事務負担金を計上するものである。						
対象者等	区議会議員30名（17年7月以降） 区議会議員32名（23年5月以降） 区議会議員31名（29年2月以降） 区議会議員32名（19年5月以降） 区議会議員31名（25年4月以降） 区議会議員30名（29年6月以降） 区議会議員31名（21年8月以降） 区議会議員32名（27年5月以降）						
内容	地方議会議員年金制度については平成23年6月1日に制度廃止となったが、制度廃止後も経過措置として共済給付金の給付を継続することが廃止法により規定されている。 (1) 共済会に納める種類（議員在職中1人あたり） <input type="radio"/> 事務負担金（区負担） <input type="radio"/> 給付費負担金（区負担） (2) 共済会から支給される種類（議員退職後） <input type="radio"/> 退職年金…在職期間12年以上の者に支給。 <input type="radio"/> 公務傷病年金…在職期間にかかわらず議員が在職中に公務による傷病で重度障害状態となって議員を退職した時、又は議員を退職後3年以内に在職中の公務による傷病で重度障害の状態となった時に支給。 <input type="radio"/> 遺族年金…①在職期間12年以上の議員が死亡した時 ②退職年金受給者、公務傷病年金受給者が死亡した時 ③議員が公務による傷病で死亡（重度障害の状態になった後も含む）した時（在職期間が12年未満でも支給） <input type="radio"/> 退職一時金及び遺族一時金…在職期間12年未満で退職又は死亡したときに、その者に退職一時金又はその者の遺族に遺族一時金を支給。						
経過	【市議会議員共済会に納める事務負担金及び給付費負担金額の推移（地方議会議員年金制度廃止以降）】 <input type="radio"/> 事務負担金（区負担）…年額13,000円×32人（条例定数）=416,000円 <input type="radio"/> 給付費負担金（区負担）…議員数（現員数）の標準報酬月額額の総額に12を乗じて得た額に地方公務員等共済組合法施行規則等の一部を改正する省令により示される負担金率を乗じて得た額 ※H27.4～28.3の12ヵ月分…600,000円×31人（H27.4.1現在の現員数）×12ヵ月×63.7%=142,178,400円 ※H28.4～29.3の12ヵ月分…610,000円×32人（H28.4.1現在の現員数）×12ヵ月×41.0%=96,038,400円 ※H29.4～30.3の12ヵ月分…610,000円×31人（H29.4.1現在の現員数）×12ヵ月×39.7%=90,087,240円 ※H30.4～31.3の12ヵ月分…610,000円×30人（H30.4.1現在の現員数）×12ヵ月×38.2%=83,887,200円						
必要性	法律による負担義務						
実施方法	（ <input type="radio"/> 1直営） （直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤 <input checked="" type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員）						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		27年度	28年度	29年度	30年度見込み	目標値（38年度）	
	①						
	②						
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
30年度	31年度						
継続	継続	引き続き実施する。					

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		133,127	133,127	118,266	142,595	96,455	93,410	84,304
決算額(30年度は見込み)		133,127	116,257	118,266	142,594	96,454	90,503	84,304
実績の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事項名(30年度は見込み)								
区議会議員数		32人	31人	31人	31人	32人	31人	30人
					(4月)	(4月~1月)	(4月~5月)	
					32人	31人	30人	
					(5月~3月)	(2月~3月)	(6月~3月)	
予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
共済費	共済費	96,039	共済費	共済費	90,087	共済費	共済費	83,888
負担金補助等		416	負担金補助等		416	負担金補助等		416

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		28年度	29年度	差額	勘定科目	28年度	29年度	差額
	行政費用	給与関係費	98,346	92,400	▲ 5,946		地方税	0	0
	物件費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	438	790	352	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 98,784	▲ 93,190	5,594	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	98,784	93,190	▲ 5,594	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 98,784	▲ 93,190	5,594	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 98,784	▲ 93,190	5,594	

備考 議員報酬と同様に給与関係のみである。議員共済負担金における給付費負担金が、4月1日現在の議員の現員数で算出するため、28年度と比較して29年度が1名減となっており、支出額が減っているものである。

問題点・課題 【地方議会議員年金制度廃止後の給付の取り扱い】○既年金受給者は、以下の給付制限に該当する場合を除き従来の年金給付が継続する。○H23.1~5の間に退職した議員、制度廃止時(H23.6)に現職議員のうち在職12年以上の議員は、廃止前の例により年金を受給するか、納付した掛金・特別掛金総額の80%の一時金の選択が可能。(在職12年未満の議員は一時金となる)【適用される給付制限】○年金の年額が200万円超の場合、超過額の10%相当額が引き下げ。○年金の年額と前年の住民税課税総所得金額(議員年金と議員報酬分を除く)の合計額が700万円超の場合、超過額の1/2相当額が支給停止。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①			
②			
③			
他区の実況	(実施) 22 区	未実施 0 区	不明 0 区)
議(要旨)問状			

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	16-01-03	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	本会議・委員会経費	部課名	議会議会事務局		課長名	濱島	
		担当者名	原田		内線	3611	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）	01-03-01	本会議、委員会経費					
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	43年度	根拠	地方自治法、荒川区議会基本条例、荒川区議会会議規則等			
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	年度	法令等				
実施基準	<input checked="" type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画	<input checked="" type="radio"/> 非計画		
行政評価事業体系	分野	VII	計画推進のために				
	政策	13	区民の主体的な区政参画と連携強化				
	施策	04	議会運営				
目的	本会議は、全議員が出席して議場で開かれる会議で、区議会の意思を決定する会議である。また、委員会は、本会議審議の予備的審査・調査機関として、専門的に詳細な審査・調査を行っている。						
対象者等	区議会議員32人及び本会議・委員会出席理事者						
内容	<p>《本会議・委員会、平成28年度定例会会期期間中開催実績》</p> <p>【本会議】</p> <p>平成29年度定例会 開会会議（5日間のうち2日）、6月会議（21日間のうち3日）、9月会議（32日間のうち3日、特に決算審議）、11月会議（16日間のうち3日）、2月会議（29日間のうち4日、特に予算審議）、3月緊急会議（1日間）、閉会会議（4日間のうち2日）[計17日開催]</p> <p>【常任委員会】</p> <p>総務企画（20回）、文教・子育て支援（20回）、福祉・区民生活（21回）、建設環境（16回）、[計77回]</p> <p>【議会運営委員会】（24回）</p> <p>【特別委員会】震災対策調査（11回）、健康・危機管理対策調査（6回）、観光・文化推進調査（7回）、財政援助団体調査（7回）、予算（8回）、決算（9回）[計48回]</p> <p>平成29年度 議会運営委員会理事会 34回（うち議会運営委員会や本会議とセットでないのは11回）</p>						
経過	<p>◆会議応招に伴う費用弁償</p> <p>○昭和61年3月以前日額3,000円 ○昭和61年4月から日額4,000円 ○平成4年7月から日額5,000円</p> <p>○平成12年1月から日額3,000円 ○平成15年5月から日額5,000円 ○平成15年7月から日額3,000円</p> <p>○平成19年7月9日から廃止。</p> <p>※平成12年1月1日から平成15年4月30日までの間は特例条例により、5,000円から3,000円に減額。</p> <p>◆平成19年第2回定例会での条例改正に伴い、特別区の存する区域外に宿泊を伴う旅行をしたときは費用弁償を支給することとなった。（平成19年7月4日 第2回定例会議決）</p> <p>◆平成22年第2回定例会での条例改正により、荒川区の区域外に旅行したとき費用弁償を支給することとなった。また、外国旅行の際の支度料を廃止した。（平成22年7月1日 第2回定例会議決）</p>						
必要性	議会の根幹である本会議、委員会の活動を行うための経費は不可欠である。						
実施方法	<p>（ 2一部委託 ） （ 直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員 ）</p> <p>平成29年度実績[単位：千円]</p> <p>荒川区議会速記及び会議録作成委託 5,669 会議録検索システム運用業務委託 1,876</p>						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		27年度	28年度	29年度	30年度見込み	目標値(38年度)	
	①						
	②						
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
30年度	31年度						
重点的に推進	重点的に推進	議会の権能を発揮するための重要な経費である。					

予算・決算額等の推移	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額	18,247	18,282	19,546	19,815	21,010	19,727	18,998
決算額(30年度は見込み)	14,365	13,788	17,395	13,956	19,017	14,918	18,998
実績の推移	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事項名(30年度は見込み)							
区議会議員数	32人	31人	31人	31人	32人	31人	30人
				(4月)	(4月～1月)	(4月～5月)	
				32人	31人	30人	
				(5月～3月)	(2月～3月)	(6月～3月)	

予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	講師謝礼等	7	報償費	講師謝礼等	14	報償費	講師謝礼等	158
旅費	行政視察等旅費	10,771	旅費	行政視察等旅費	7,214	旅費	行政視察等旅費	8,533
需用費	幹事長会賄等	67	需用費	幹事長会賄等	88	需用費	幹事長会賄等	214
委託料	速記委託、会議録検索システム委託	8,173	委託料	速記委託、会議録検索システム委託	7,546	委託料	速記委託、会議録検索システム委託	9,963
			使用料等	区有施設視察バス借上料等	56	使用料等	区有施設視察バス借上料	130

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目	28年度	29年度	差額	勘定科目	28年度	29年度	差額
物件費	19,010	14,904	▲ 4,106	国庫支出金	0	0	0	
維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
補助費等	7	14	7	使用料及び手数料	0	0	0	
減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0	
賞与・退職給与引当金繰入額	8,813	16,192	7,379	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 65,848	▲ 70,002	▲ 4,154	
その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
行政費用合計(b)	65,848	70,002	4,154	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 65,848	▲ 70,002	▲ 4,154	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 65,848	▲ 70,002	▲ 4,154	

備考 行政費用では、給与関係費は横ばいである。物件費の減の理由は、予算の中で大きな割合を占める旅費について、行政視察に場所等の要因により、旅費の経費が減少したためである。

問題点・課題 議会改革の検討については、議会運営委員会にて随時調査が行われ、以下の答申を受けた。《答申事項》◆平成20年 議会図書室・議会広報・議会のセキュリティ等について ◆平成22年 就退任する月の議員報酬の支払い方法について、追加議案に対する討論保障について、支度料の廃止について、旅費の支給要件の見直しについて、締め括り総括質疑並びに外郭団体調査における持ち時間計測方法の見直しについて等 ◆平成25年 荒川区議会基本条例を議員提出議案により平成25年第3回定例会に提出すること ◆平成26年 荒川区議会基本条例の関連議案を議員提出議案により平成26年第1回定例会に提出すること

問題点・課題の改善策									
	平成29年度に取り組む具体的な改善内容		平成29年度に実施した改善内容および評価		平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容				
①									
②									
③									
他区の実況	(実施	22	区	未実施	0	区	不明	0	区)
況(議会要旨)問状	平成20年1定 本会議場のモニターの有効活用及び予特・決特においてパワーポイントやプロジェクター等の使用の検討について。								

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	16-01-04	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働 <input checked="" type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事				
事務事業名	交際費	部課名	議会議会事務局	課長名	濱島		
		担当者名	原田	内線	3611		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）		01-03-02	交際費				
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	23年度	根拠	荒川区議会議長交際費の支出に関する要綱			
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	年度	法令等				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	VII	計画推進のために				
	政策	13	区民の主体的な区政参画と連携強化				
	施策	04	議会運営				
目的	議長が、荒川区議会を代表し、議会運営に必要な交際上特に必要と認める場合において、予算の範囲内で支出する。						
対象者等	議長・副議長（議長の代理出席等の場合）						
内容	<p>1 議長交際費の支出範囲は、渉外経費、儀礼的経費、会費及びその他の経費である。</p> <p>2 交際費の支出基準については、平成14年6月に議長決定により作成。（平成19年12月全部改正）支出にあたっては、社会通念上、妥当と思われる範囲内で支出している。</p> <p>(1) 渉外経費…区内外からの議長への表敬訪問に対する接待に要する経費。支出限度額は実費相当額。</p> <p>(2) 儀礼的経費…慶祝（お祝い等に要する経費）、弔意（香典、供花料等に要する経費）、見舞い（病氣、災害、事故等の見舞いに要する経費）に要する経費。支出限度額は3万円。</p> <p>(3) 会費…公共的団体等が主催する行事等（総会、懇親会、周年行事、記念事業等）の会費又は会費相当分の経費。支出限度額は会費が明示されていればその額、不明の場合は会場のグレード等に応じて2万円。</p> <p>(4) その他の経費…議会運営上特に議長が重要であると判断し、必要であると認める経費。支出限度額は社会通念上妥当と認められる金額。</p>						
経過	◆交際費の実績	予算額	支出額	執行率			
	平成23年度実績	1,400,000円	653,105円	46.7%	（支出額は前年から 242,105円減）		
	平成24年度実績	1,300,000円	912,920円	70.2%	（支出額は前年から 259,185円増）		
	平成25年度実績	1,300,000円	772,945円	59.5%	（支出額は前年から 139,975円減）		
	平成26年度実績	1,300,000円	974,780円	75.0%	（支出額は前年から 201,835円増）		
	平成27年度実績	1,300,000円	531,940円	41.0%	（支出額は前年から 442,840円減）		
	平成28年度実績	1,300,000円	880,628円	67.7%	（支出額は前年から 348,688円増）		
	平成29年度実績	1,300,000円	666,076円	51.7%	（支出額は前年から 214,552円減）		
必要性	議長が、荒川区議会を代表し、議会運営に必要な交際をするために必要である。						
実施方法	（1直営） （直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員）						
指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		27年度	28年度	29年度	30年度見込み	目標値(38年度)	
	①						
	②						
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
30年度	31年度						
継続	継続	引き続き実施する。					

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
決算額(30年度は見込み)		913	773	975	532	881	666	1,300
実績の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事項名(30年度は見込み)								
渉外経費		0	0	0	5	0	0	0
儀礼的経費		354	260	398	148	281	284	284
会費		495	461	577	379	475	1016	1016
その他		64	52	0	0	175	0	0

予算・決算の内訳

(単位：千円)

平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
交際費	交際費	881	交際費	交際費	666	交際費	交際費	1,300

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		28年度	29年度	差額	行政収入	勘定科目		28年度	29年度	差額
	給与関係費		1,891	1,897	6		地方税		0	0	0
物件費		881	666	▲ 215	国庫支出金		0	0	0	0	
維持補修費		0	0	0	都支出金		0	0	0	0	
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0	0	
補助費等		0	0	0	使用料及び手数料		0	0	0	0	
減価償却費		0	0	0	その他		0	0	0	0	
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)		0	0	0	0	
賞与・退職給与引当金繰入額		438	790	352	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲ 3,210	▲ 3,353	▲ 143	▲ 143	
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)		0	0	0	0	
行政費用合計(b)		3,210	3,353	143	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 3,210	▲ 3,353	▲ 143	▲ 143	
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 3,210	▲ 3,353	▲ 143	▲ 143	

備考 給与関係費は横ばいである。物件費はすべて議長、副議長の交際費であり、その性質上、変動要因が大きいものである。前年度に比べ慶弔等の機会の件数が減ったため、支出額も減少した。

問題点・課題

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①			
②			
③			
他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)		
議(会)質(問)状			

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	16-01-05	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	区議会だより発行	部課名	議会議会事務局	課長名	濱島		
		担当者名	小原	内線	3616		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）	01-03-03	区議会だより発行					
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	43年度	根拠				
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	年度	法令等				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	VII	計画推進のために				
	政策	13	区民の主体的な区政参画と連携強化				
	施策	04	議会運営				
目的	開かれた議会の一つとして、本会議をはじめ、議会活動の内容を広く、区民に周知することを目的として発行						
対象者等	区民及び関係機関						
内容	<p>編集委員会（幹事長会）において、記事、掲載写真、活字等を決定している。</p> <p>1 議会だより【主な掲載記事】 一般質問要旨、議案の審議結果、採択された請願・陳情、意見書、予算・決算審査の概要及び各会派の討論、委員会活動、視察受入報告、その他 【配付先】（30年度予定） ①新聞折込等 52,550部 ②駅スタンド 500部 ③議員等 43部 ④庁内及び区施設等 2,226部 ⑤公衆浴場 1,380部 ⑥他自治体等 105部 ⑦ポスティング（平成27年度より実施）2,500部 ⑧議会事務局保管（視察受入議会への配付分を含む）146部</p> <p>2 声の区議会だより（デジターCDを平成28年度より追加）→議会だよりをテープ及びデジターCDに録音して、希望する視覚障害者に郵送する。送付本数（テープ22本、CD17本） 区役所等【議会事務局、心障センター、アクロスあらかわ、ゆいの森あらかわ】（テープ3本、CD5本）</p>						
経過	<p>平成28年新年号（NO.233）から体裁・発行回数を変更した。</p> <p>【大きさ】タブloid版→A4版 【用紙】上質紙→コート紙（古紙配合率70パーセント以上 29年度） 【ページ数及び発行回数】2月会議号、9月会議号8ページ→20ページ 6月会議号、11月会議号4ページ→16ページ 開会会議・緊急会議号4ページ→8ページ 新年号4ページ（合併号であった11月会議号と新年号を独立させ、年6回発行とした。） 【刷り色】1ページ及び最終ページ4色刷り その他のページスミ刷り→全ページ4色刷り 【組み方】縦組、1行15文字×47行×7段組 文字の大きさ 16級平2→横組、1行22文字×41行×2段組 文字の大きさ 11ポイント 【書体】明朝とゴシック→新丸ゴシック→ユニバーサルデザイン（29年度） ※平成27年度はタブloid版とA4版が混在。 ※平成27年度 封入委託（郵送）は開会会議号で終了し、6月会議号よりポスティング委託を開始。</p>						
必要性	区民の暮らしに関する重要な事柄を決定する機関である区議会の活動について、区民に広く周知する必要がある。						
実施方法	<p>（2一部委託）（直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員）</p> <p>印刷製本、新聞折込、声の区議会だより制作、駅スタンド配付・公衆浴場配付・ポスティングについて、業者委託により実施。</p>						
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み	
	①						
	②						
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
30年度	31年度						
重点的に推進	重点的に推進	「あらかわ区議会だより」は、多くの区民が読む機会があり、区民の議会への関心を高め、理解を深めることにつながるため、当該施策の優先度は高いと考える。					

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		4,937	4,213	3,894	5,562	9,170	8,906	8,552
決算額(30年度は見込み)		3,905	3,940	3,629	5,289	8,194	8,147	8,552
実績の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事項名(30年度は見込み)								
発行部数(○月会議号)		74,130	74,100	74,100	71,000	62,150	58,300	59,450
発行部数(開会会議・○月緊急会議号)		74,430	74,400	74,400	71,300	62,000	60,100	59,450
発行部数(新年号)		—	—	—	71,000	63,180	60,050	60,450
声のだより作成数(テープ)【デジジー】		(19)	(19)	(19)	(16)	(10)【8】	(7)【8】	(25)【22】
予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
需用費	印刷製本	3,812	需用費	印刷製本	3,860	需用費	印刷製本	4,000
委託料	新聞折込、声の区議会だより制作等	4,383	委託料	新聞折込、声の区議会だより制作等	4,288	委託料	新聞折込、声の区議会だより制作等	4,552

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	28年度	29年度	差額		28年度	29年度	差額	
行政コスト計算書	給与関係費	8,484	8,509	25	地方税	0	0	0
	物件費	8,194	8,147	▲47	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,966	3,543	1,577	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲18,644	▲20,199	▲1,555
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	18,644	20,199	1,555	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲18,644	▲20,199	▲1,555
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲18,644	▲20,199	▲1,555	

備考 前年度と比較して、給与関係費は横ばいである。物件費も区議会だよりの発行に要する需用費と委託料がほぼ同額なので、大きな変動はない。

問題点・課題

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	区議会だより表紙写真公募について(周知回数を増やす、区内写真団体への働きかけ等)	区議会だより表紙写真公募について、紙面での周知回数を増やした結果、応募件数が増加した。	区議会だより表紙写真公募について、引き続き周知を行い、応募人数の増加を図る。
②			
③			
他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)		
議(要旨)問状			

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	16-01-06	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働 <input type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事				
事務事業名	その他運営費（議会）	部課名	議会議会事務局		課長名	濱島	
		担当者名	原田		内線	3611	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）	01-03-05	その他運営費					
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業 (<input type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度)		<input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> それ以外の継続事業				
開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	43年度	根拠				
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	年度	法令等				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	Ⅶ 計画推進のために					
	政策	13 区民の主体的な区政参画と連携強化					
	施策	04 議会運営					
目的	他の事業に属さない議会運営を円滑に行うための事業実施を目的とする。						
対象者等	区議会議員等						
内容	<p>◆主な事業内容</p> 1 議員名簿（700部・毎年度7月頃発行）、正副議長就退任挨拶状（600部・正副議長交代時）の印刷 2 議長応接室・議会図書室に設置しているテレビ2台のNHK衛星受信料とCATV視聴料の支出 ※NHK衛星受信料については、平成23年度より総務企画課にて一括して支出 3 議場・議場前・会派控室の椅子カバー等のクリーニング 83席分 4 議員健康診断業務委託（平成29年度実績）①生活習慣病健康診断（特定健診含む）24人 ②呼吸器系健康診断23人 ③消化器系健康診断20人 ④大腸健康診断24人 ⑤眼底検査25人 ⑦PSA検査（前立腺がん）〔男性議員対象〕19人 ⑧骨密度検査〔女性議員対象〕5人 5 各議長会の分担金等支出（平成29年度実績）〔単位：千円〕 ①全国市議会議長会588 ②関東市議会議長会47 ③特別区議会議長会270						
経過	<p>◆各議長会の分担金等支出の主な経過</p> 特別区第二ブロック議長会分担金（平成11年度まで支出） 特別区議会議員表彰分担金（平成12年度まで支出） 各委員長会分担金（平成14年度まで支出） 日暮里・舎人線建設促進協議会分担金（平成19年度まで支出、平成20年度日暮里・舎人線建設促進協議会解散） 東京都市区議会議長会分担金（平成21年度まで支出、平成21年度東京都市区議会議長会解散）						
必要性	議会運営や議員活動を補完する事業であり、必要である。						
実施方法	（ 2一部委託 ） （ 直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員 ） 平成29年度実績〔単位：千円〕 印刷製本(正副議長就退任挨拶状、他)314 椅子カバークリーニング65 業務委託(議員健康診断、他)453						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		27年度	28年度	29年度	30年度見込み	目標値(38年度)	
	①						
	②						
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
30年度	31年度						
推進	推進	引き続き実施する。					

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		3,637	4,042	3,627	6,475	3,584	5,651	3,476
決算額(30年度は見込み)		2,383	2,676	2,441	3,175	2,685	4,687	3,476
実績の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事項名(30年度は見込み)								
区議会議員数		32人	31人	31人	31人	32人	31人	30人
					(4月)	(4月~1月)	(4月~5月)	
					32人	31人	30人	
					(5月~3月)	(2月~3月)	(6月~3月)	
予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
需用費	文房具、議員名簿等	1,034	需用費	文房具、議員名簿等	866	報償費	政活費等協議会委員謝礼等	73
役務費	議会内テレビ受信料等	128	役務費	議会内テレビ受信料等	322	需用費	文房具、議員名簿等	1,627
委託料	議員健康診断等	476	委託料	議員健康診断等	2,094	役務費	議会内テレビ受信料等	190
備品購入費	予・決特録画用カメラ等	142	備品購入費	行政視察受入用テレビ購入費	493	委託料	議員健康診断等	629
負担金補助等	各議長会分担金等	905	負担金補助等	各議長会分担金等	912	負担金補助等	各議長会分担金等	957

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	28年度	29年度	差額		28年度	29年度	差額	
行政費用	給与関係費	5,202	5,217	15	地方税	0	0	0
	物件費	1,780	3,775	1,995	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	905	912	7	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	1	0	▲1
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1	0	▲1
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,206	2,172	966	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲9,092	▲12,076	▲2,984
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	9,093	12,076	2,983	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲9,092	▲12,076	▲2,984
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲9,092	▲12,076	▲2,984	

備考 行政費用の中で大きな割合を占める給与関係費は、前年度と比較してほぼ同額である一方、物件費は200万円近く増加している。主な増要因としては、平成29年度に、荒川区議会ホームページをリニューアルしたための委託料である。

問題点・課題

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①			
②			
③			
他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)		
議会議決(要旨)状況	平成21年1定 議員の健康診断のあり方について。 平成21年1定 オーストリア訪問、応接セット購入、議員の人間ドック受診の費用を予算から削除すべき。		

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		2,067	2,786	2,127	2,081	2,081	2,081	2,011
決算額(30年度は見込み)		1,617	2,241	1,711	1,578	1,631	1,624	2,011
実績の推移	事項名(30年度は見込み)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
需用費	新聞購読料外	1,428	需用費	新聞購読料外	1,420	需用費	新聞購読料外	1,679
役務費	ウェブコーナーインターネット使用料外	203	役務費	ウェブコーナーインターネット使用料外	205	役務費	ウェブコーナーインターネット使用料外	332

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		28年度	29年度	差額	勘定科目	28年度	29年度	差額
	行政費用	給与関係費	4,673	4,687	14		地方税	0	0
	物件費	1,631	1,624	▲7	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,083	1,951	868	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲7,387	▲8,262	▲875	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	7,387	8,262	875	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲7,387	▲8,262	▲875	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲7,387	▲8,262	▲875	

備考 前年度と比較して、給与関係費は横ばいである。物件費も、図書室運営にかかかかる図書等の需用費と情報検索システム等の役務被がほぼ同額なので、大きな変動はない。

問題点・課題

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	図書室の有効活用ができるよう、行政資料を収集に努める。	今日のニュースなどを事務室で配備し、現議員及び元議員に区行政への関心高めることができた。	図書資料が活用できるよう、収集及び見る環境づくりに努める。
②			
③			

他区の実況	(実施)	22	区	未実施	0	区	不明	0	区)
	況(要旨)	平成19年3定：議会図書室は、参考になるような書籍、蔵書が少ない。また、レイアウトの変更、リニューアル、禁煙について検討すべきある。(平成29年1月末現在、禁煙は実施済み)							

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード		16-01-08		戦略プラン		<input type="radio"/> 協働 <input checked="" type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事		
事務事業名		CATV放送（議会）		部課名		議会議会事務局		
				課長名		濱島		
				担当者名		高橋		
				内線		3616		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）		01-03-04		CATV放送				
事務事業の種類		<input checked="" type="radio"/> 新規事業 （ <input type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度 ）		<input type="radio"/> 建設事業		<input type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12年度		根拠		
終期設定		<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		年度		法令等		
実施基準		<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分		<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画		
行政評価事業体系		分野		Ⅶ 計画推進のために				
		政策		13 区民の主体的な区政参画と連携強化				
		施策		04 議会運営				
目的		議会の情報公開やより開かれた議会を目指し確立するため、ケーブルテレビ及びインターネット配信を活用し、議会活動の様態を広く区民に提供する。						
対象者等		CATV視聴可能世帯及びインターネット視聴者						
内容		予特・決特における総括質疑全体（110分）を、一括して放映している。 【番組構成】 オープニング 約5分（委員長あいさつ・議長あいさつ・区長あいさつなど） 総括質疑 110分、エンディング 約5分 【放映日時（平成29年度定例会）】 9月会議 平成29年10月2日（月）～10月8日（日） 1回目9～11時 2回目18～20時 2月会議 平成30年3月5日（月）～11日（日） 【放映日時（平成30年度定例会）】 9月会議 平成30年10月8日（月）～10月14日（日）1回目9～11時 2回目18～20時 2月会議 平成31年3月4日（月）～3月10日（日）						
経過		●平成11年9月14日 議長より具体化に向けた検討について、議会運営委員会に諮問 ●平成11年12月9日～10日 CATV議会放映について、鳥取県鳥取市を視察 平成12年2月8日 議会運営委員会で検討し、実施すべきとの答申を議長に提出 ●平成12年7月13日～14日 CATV議会放映について、三重県伊勢市を視察 ●平成12年9月28日 第3回定例会における決算委員会の総括質疑の様態を録画中継（企画部広報課事業協力） ●平成13年2月28日 第1回定例会における予算委員会の総括質疑の様態を録画中継（企画部広報課事業協力） ●平成13年9月28日 第3回定例会における決算委員会の総括質疑の様態を録画中継 ●平成29年4月25日 幹事長会において、平成29年度定例会は事務局が撮影した映像をCATV及びインターネット配信で放送することを決定。 ●平成30年3月14日 幹事長会において、平成30年度荒川区議会・9月会議決算に関する特別委員会総括質疑より手話収録を行うことを決定。						
必要性		議員の委員会審議の様態を映像で伝える数少ない事業として必要である。						
実施方法		（3委託） （直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員） 業務委託による。 委託先は東京ケーブルネットワーク株式会社。						
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み	目標値(38年度)	
	①							
	②							
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
30年度		31年度						
重点的に推進		重点的に推進		予算・決算という重要な案件を審議する場であり、議員の日頃の活動を伝える機会でもあるため、継続していくことが必要である。				

